

平成27年度 事業報告について

能美市シルバー人材センターは、設立から10年目を迎え、市民からの受注も順調に伸び、企業からの派遣件数も増加傾向となり、更なる会員増加を目指してきました。また、今後さらに超高齢化時代に入り、日常的な家事援助などの介護サービスのニーズも増加すると考えられ、講習会参加などで会員の人材育成に努めてきました。市民からの草刈り、剪定や様々な仕事の受注、そして公共施設の清掃、管理や福祉行政の一端を担って来たところでもあります。

本年度の受託事業実績は受託件数で4,012件となり前年度比0.9%の増となりました。就業延人数は42,051人で1.2%増、就業率は80%で前年比-4.8ポイント減少いたしました。

契約金額は1億5,180万円余りで、内訳は公共関係で約5,355万円、民間事業所で約6,121万円、一般家庭で約3,572万円、独自事業で約131万円に対前年度約22万円の減額となりました。

一般労働者派遣事業については、引き続き派遣切替えを行った結果、契約件数は138件の増加、就業延人数は4,529人増加し、契約額は1,189万円余りの増額となりました。内訳は公共関係で約1,992万円、民間事業所で約3,230万円となりました。今後も適正就業を念頭に引続き努力していく必要があると考えています。

会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。

会員数については、前年度末454名に対し、平成27年度末は465名と11名（男3名、女8名）増加いたしました。会員全体の平均年齢は71.9歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が72.2歳、女性が71.4歳で、会員の最高年齢は86歳です。粗入会率は市の60歳以上の人口15,022人に対し3.09%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

1. 会員の加入状況

単位：人

年 月 日	男	女	計	摘 要
平成27年3月31日	277	177	454	
中途入会者数	38	24	62	
中途退会者数	35	16	51	
差引き増減	3	8	11	
平成28年3月31日	280	185	465	対前年11人増

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根 上 地 区	1 0 8	8 9	1 9 7	
寺 井 地 区	8 2	6 1	1 4 3	
辰 口 地 区	9 0	3 5	1 2 5	

計 4 6 5 人

2. 受託事業の実績

単位：円

	平成 2 7 年度	平成 2 6 年度	差 引	前年度比
受託件数 (件)	4,012	3,947	39	0.9%
就業延人数 (人)	42,051	41,536	515	1.2%
契約金額 (円)	151,814,937	152,040,682	△225,745	△0.1%
就業率 (%)	80.0	84.1	△4.1	△4.8%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成 2 7 年度	平成 2 6 年度	差 引	前年度比
公共	53,556	55,560	△2,004	△3.6%
民間事業所	61,217	59,191	2,026	3.4%
一般家庭	35,724	35,168	556	1.5%
独自事業	1,317	2,121	△804	△37.0%
合計	151,814	152,040	△226	△0.1%

3. 一般労働者派遣事業の実績

	平成 2 7 年度	平成 2 6 年度	差 引	前年度比
契約件数 (件)	480	342	138	40.3%
就業延人数 (人)	14,843	10,314	4,529	43.9%
契約金額 (円)	52,223,802	40,326,087	11,897,715	29.5%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成 2 7 年度	平成 2 6 年度	差 引	前年度比
公共	19,923	13,941	5,982	42.9%
民間事業所	32,300	26,385	5,915	22.4%
合計	52,223	40,326	11,897	29.5%

4. 安全・適正就業の徹底

(1) 会員の安全・適正就業の向上を図るため、安全委員会を中心に会員への安全就業への周知、会員が作業中のところへのパトロールを実施し、安全への点検を実施しました。また、小松市管内での県連合会との合同の現場巡回パトロールにも参加しました。

安全標語の募集については 27 人の会員から 74 点の応募作品があり、安全委員会で審査の結果、優秀作品 5 点を県シルバー連合会へ提出しました。

(2) マイクロバス安全運転研修会の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために、こまつ自動車学校で 65 歳以上の 12 名が安全運転研修を受講しました。

(3) 事故発生件数

今年度当初、蜂さされによる事故が多発し、健康に悪影響もあり注意を即しました。また、ちょっとした不注意での事故も発生しましたが、幸いにも重篤な事故、重大な事故はなかったものの、それらにつながる事故であったことは確かであります。発生件数も前年度より 6 件増加しました。

事故発生件数

傷害保険事故	15 件
賠償責任保険事故	7 件
その他事故	3 件

5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

(1) 11 月 22 日、能美市シルバー人材センター設立 10 周年記念事業としてサンテてらい前でイベントを開催しました。独自事業で栽培した「加賀丸いも」やゆず同好会が収穫したゆず、会員が栽培した野菜の直販を行なった他、会員による餅つきや市食生活改善推進協議会の協力を得て、丸いも入り豚汁鍋を多くの来場者に振る舞うことができました。

(2) 8 月 23 日の辰口まつりに辰口地区会員 13 名が「ボランティアごみスタッフ」として清掃活動に参加して環境美化に努めました。

(3) 12月25日、各地区会員が門松づくりを行い、市役所本庁舎、寺井警察署、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、里山の湯、物見山体育館、クアハウス九谷の8カ所に門松を設置しました。

新聞記事にも取り上げられ、センター事業の啓発とPRに効果がありました。

(4) シルバー会員有志による「ゆず栽培同好会」のメンバー14名が和気町地内のゆず畑の草刈り、剪定、消毒等の作業を年間を通して行い里山保全に取り組みました。ただ、ゆずの販路や活用方法が大きな課題となりました。

6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、25アールの作付け分の収穫を終えました。

丸いも出荷量はJA根上へ1,471kg、個人・団体の顧客には1,449kgを販売し、ほぼ全収量を完売することが出来ました。売上額は1,451,535円となりました。

尚、次年度作付け用「種いも」として確保した数量は600kgで売上換算額は600,000円となり、これらに交付金105,000円を加えると総生産額は2,156,535円となりました。

7. 就業機会の拡大

高齢者の雇用・就業機会の確保を図るための方策の一つとして、55歳以上で就業意欲のある人を対象に「技能講習会」を県連合会と連携して能美市立博物館及び根上学習センターで実施しました。

講習会等名	実施日	日数	受講者数
遺跡発掘講習	9月28日～10月1日	3日	13名
ビジネスパソコン講習	12月16日～12月24日	5日	14名

センターでは受講生募集チラシを作成して新聞折り込みの結果、講習会への応募とともに仕事の依頼も増加し効果がありました。

尚、技能講習を受けたものの就職できなかった受講者に対しシルバー会員登録をお願いするなど勧誘活動も行ないました。